

神宮外苑イチョウ並木 保全の最前線



樹勢が懸念されるイチョウをどう救うか？ 原因究明に基づく多角的なアプローチ

2022年以前から、神宮外苑イチョウ並木西側にある数本の樹木において、夏季前に葉が褐変し、早期に落葉してしまう現象が確認されていました。本講演では、この現象の解明に向けて提案・実施された診断手法と、原因解析および具体的な対策措置の実施プロセスについてご報告します。また、デンドロメーターを用いて試みた、樹勢回復効果の検証についても詳しく解説いたします。



褐変したイチョウ(2023年6月)



イチョウの根を守るための決断。 根系調査結果による新野球場 配置見直し

神宮外苑の再開発に伴う新野球場の建築においては、イチョウ並木への影響を評価するため、計12カ所にわたるイチョウ並木の根系調査を実施しました。本講演では、その調査結果の解析をもとに建築位置の提案を行い、当初の計画にあった歩道位置を変更する案が了承されるに至った経緯とそのデータについてもご紹介します。



根系調査(追い掘り・テニスコート内)

■ 概要

- ・日 時：令和8年 7月17日(金) 16:15～18:15 (16:10入室開始)
- ・講 師：直木技術事務所 代表 直木 哲 (技術士・樹木医)
- ・参加費：無料
- ・対 象：どなたでも参加OK
- ・開催方法：オンライン(Zoom)
- ・申込締切：令和8年 7月16日(木)15:00
- ・造園CPD認定プログラム(2単位)



📄 お申込はQRコードから
<https://forms.gle/p8JetZpYQ12hkq6A>